

平成30年度第5回コンクリート常任委員会議事録（案）

日時：2019年1月21日（月）14時～16時45分

場所：土木学会 講堂

出席者：前川委員長，小林幹事長，石田，岩城，岩波，氏家，大内，河合，岸，佐伯，下村，田中，谷村，土谷，中村，二羽，橋本，濱田，平田，本間，松田，丸屋，宮川，睦好，山路，横田の各常任委員，綾野，加藤，齊藤，坂田，名倉の各常任委員兼幹事，林，皆川の各オブザーバー，小川（事務局）

配布資料：

- 5-0 平成30年度第5回コンクリート常任委員会議事次第
- 5-1 平成30年度 第4回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 5-2 国際関連小委員会委員構成
- 5-3 コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会(3種委員会)設立趣意書
- 5-4 高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート部材設計施工指針（案）コメント対応票
- 5-5 平成31年度「重点研究課題(研究助成金)」募集について(ご案内)
- 5-6 2019年度「JSCE2015に基づく活動計画に対する助成」の募集について(ご案内)
- 5-7 JSCE2020アクションプラン対応研究課題 提案書
- 5-8 平成30年度コンクリート委員会一般会計予算執行状況
- 5-9 コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会(351委員会)第2期委員構成
- 5-10 公益信託土木学会学術交流基金ジョイントセミナー・国際シンポジウム等 助成申請書
- 5-11 2017年度版，2018年度版示方書講習会開催状況

議 事：

1. 委員長挨拶（前川委員長）

前川委員長より挨拶がなされ、「昨年まで示方書の審議等で議事が多く、話題提供して頂く時間を取ることができなかったが、今回からまた話題提供をして頂くことにした。今回は凍害に関して、岩城委員に話題提供頂く」とのお話があった。

2. 次期コンクリート委員長候補者の選出

加藤幹事より、常任委員会の全47名のうち過半数となる24名を得ることが必要であることが確認された。その後、齊藤幹事および小川氏により開票作業が行われ、一人で過半数の獲得とならなかったため、上位の綾野幹事と下村委員の2名を候補者とする再投票が行われた。開票の結果、下村委員が次期コンクリート委員長候補者に選出された。

3. 第4回コンクリート常任委員会議事録（案）の承認【資料5-1】

- ・ 加藤幹事より、議事録の内容について確認され、以下の修正後に承認された。
- ・ 4ページ、審議事項5の下から4行目：「付属資料ができた段階で、丸屋委員、幹事で確認する。」については修正なし。付属資料については最終版が完成しており、幹事（および丸屋委員）による確認を行うが、3月の発刊に間に合わせるために、並行して印刷作業を進めることが確認された。
- ・ 3ページ、下から8行目「整合性しなくなる」を「整合しなくなる」に修正。

審議事項：

1. 第2種委員会の委員構成【資料5-2】

(1)国際関連小委員会 (207 委員会)

- ・取違剛委員の新任について承認された。
- ・中村拓郎委員の所属を、「東京工業大学」から「寒地土木研究所」に修正。

2. 第3種委員会の設置【資料 5-3】

(1)コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会

- ・岩城委員および林氏より、コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会の設置について説明され、承認された (359 委員会)。

3. SIP 対応高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート部材設計施工指針 (案) の審議【資料 5-4】

- ・綾野幹事および皆川オブザーバーより、262 委員会からの回答が説明され、以下の審議の後、出版が承認された。今後、出版および講演会の日程について調整する。
- ・実機と供試体との乖離について、どのような要因が影響しているのか。(前川委員長) ⇒材料管理、蒸気養生、温度等の違いによる影響が大きいと考えられる。(綾野幹事)
- ・JIS や示方書、指針類に倣って、本文中は「BFS」ではなく、「高炉スラグ細骨材」と表記するべきではないか。(小林幹事長) ⇒最初に「BFS」が「高炉スラグ細骨材」を指すことを定義して、以降は本文中でも略称を使用しても良いこととする。(前川委員長、綾野幹事)

4. 重点研究課題の公募について【資料 5-5】

- ・小林幹事長より、重点研究課題の公募について説明された。常任委員からの提案をお願いするが、もしなければ、幹事会で検討して応募する。

5. JSCE2015 にもとづく活動計画に対する助成について【資料 5-6】

- ・小林幹事長より、JSCE2015 にもとづく活動計画に対する助成の募集について説明された。助成金額が少額で、また一般市民への対応であり、このような活動をコンクリート委員会ではあまりしていないことから、今まで応募したことはないが、もしあれば応募して頂きたい。

6. JSCE2020 アクションプラン対応の研究課題の提案【資料 5-7】

- ・小林幹事長より、JSCE2020 アクションプラン対応の研究課題の提案について、時間がなかったため、幹事団で研究課題案を作成したとの説明があった。また、岩波委員より、企画委員会で、土木学会全体において 5 年間で実施すべき研究内容を検討しており、各委員会からの提案を期待しているとの話があった。

7. その他

特になし

報告事項：

1. 平成 30 年度コンクリート委員会予算執行状況【資料 5-8】

- ・小林幹事長より、予算執行状況について報告された。

2. 第3種委員会の委員構成【資料 5-9】

(1)コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会 (351) 委員変更

- ・加藤幹事より、コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会の委員構成の変更が説明された。木村委員、杉田委員が退任し、新たに桑原氏、本谷氏が新委員に就任した。

3. ジョイントセミナー・国際シンポジウム等助成への申請【資料 5-10】

- ・ 濱田委員より、ジョイントセミナー・国際シンポジウム等助成への申請について報告された。ウランバートル（モンゴル）での開催を計画する内容である。

4. 講習会、成果報告会の開催報告【資料 5-11】

(1)コンクリート標準示方書【維持管理編】【規準編】発刊に伴う講習会

- ・ 加藤幹事より、コンクリート標準示方書【維持管理編】【規準編】の講習会の状況について報告された。
- ・ 橋本委員より、5月14日（火）、四国支部による高松での開催予定について報告された。

(2)塩害環境の定量評価に関する研究小委員会（348）成果報告会

- ・ 加藤幹事より、塩害環境の定量評価に関する研究小委員会の成果報告会（12月21日開催，土木学会講堂）について報告された。48名の参加者があった。
- ・ 佐伯委員より、USBメモリによる報告書の配布について、セキュリティの問題に対して、新潟大学のHPからのダウンロードを可能にしたことが報告された。

(3)セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針講習会（大阪）

- ・ 加藤幹事より、セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針講習会（12月6日開催，大阪）について報告された。51名の参加者があった。

5. その他

特になし

懇談事項

凍害について話題提供がなされ，ディスカッションを行なった。

司会：岩城委員

話題提供：

岩城委員・・・凍害のメカニズム，凍結防止剤の影響，対策の現状

綾野幹事・・・初期養生の影響，骨材品質の影響

坂田幹事・・・プレキャスト製品における問題，中空微小球による対策，セメント種類の影響

前川委員長・・・数値解析による検討

次回開催：

2019年3月15日（金）14：00より，TKP市ヶ谷カンファレンスセンターホールにおいて

（議題は，幹事宛で3月4日（月）までに）